

# 2024（令和6）年度 国際コミュニケーション学部 心理社会学科 卒業研究タイトル

## 卒業研究の目的と概要

心理社会学科では卒業論文を課している。卒業論文は、「社会・産業心理学領域」「臨床心理学領域」「教育・発達心理学領域」「認知・神経科学領域」の各専門領域を担当する教員の指導の下で学生が行った実証的研究または文献調査に基づいて作成したものである。学生自身の興味を具体的かつ適切なリサーチクエストへと昇華させ、各専門領域における学識と「共通領域」で培った科学的な分析力を駆使しながら多面的かつ論理的に考察することで一定の答えを導き、それらを説得力のある文章で著したものである。

卒業論文および卒業研究の内容を報告するプレゼンテーションを作成する過程における工夫と気づき、それらを通じて得た自信は、実社会で直面する社会問題や対人関係など、あらゆる場面において卒業生を支え、歩みを進ませる力となるものである。

## 指導教員：河野 俊寛

- |        |   |
|--------|---|
| 木戸 駿走  | 大学生の対人コミュニケーションスキルと障害観の実態調査 ―医療関係職を目指す学生を対象に―           |
| 辻 柊汰   | 令和6年能登半島地震における要介護者とその家族から見る避難所と支援の課題                    |
| 野路 恵莉子 | 小学生の書字運動と聴写課題における助詞表記誤りとの関連性 ―ペンタブレットを用いた研究―            |
| 林 衿早   | 大学生はどのように字を読み書きしているのか ―RaWFの黙読・視写課題を用いた実態調査及び比較検討から―    |
| 東 瑠菜   | 特別支援教育コーディネーターから見た特別支援教育の現状と課題 ―小学校と高校の比較を通して―          |
| 南 笑加   | 化粧行動は知的障害者の行動に影響を及ぼすのか ―ネイルアートを実施した知的障害者のシングルケースデザイン研究― |

## 指導教員：小島 弥生

- |        |   |
|--------|---|
| 大坪 拓夢  | 発達障害の当事者におけるセルフ・スティグマの検討                    |
| 土田 桜友紀 | 優柔不断傾向と意思決定方略との関係                           |
| 供田 夏鈴  | ショッピングサイトでのタイムセール期限表示が消費者の意思決定に与える影響        |
| 土木 菜摘  | 美人ステレオタイプが行動選択に与える影響 ―同性・異性の顔の魅力が行動を左右するのか― |
| 西野 莉子  | ファッションブランドの選択とブランドロイヤリティの関連性についての探索的検討      |
| 藤田 菜々美 | 自己開示が精神的健康に及ぼす影響 ―親密度の調整効果の検討―              |
| 前田 珠々菜 | 制御適合が青年期の交友関係の在り方および行動の選択に与える影響             |

## 指導教員：林 洋一

- |       |  |
|-------|--|
| 角野 倫子 | 幼少期の家族関係が大学生の自己肯定感に及ぼす影響とアダルト・チルドレン傾向の有無 |
| 木村 順奈 | スクールカウンセラーの効用 ―大学生の認識―                   |
| 小林 史賢 | 認知症患者の精神について既存の知見の検討                     |
| 仲井 朋暉 | 大学生における死生観の獲得要因と生と死に対する態度の分析             |
| 成田 吏乙 | 居住形態の違いが大学生の自立度とアイデンティティ発達に及ぼす影響         |
| 松井 美夏 | 大学生における「コンテンツ共有型SNS」の利用実態と自己愛・承認欲求との関連   |

緑川 ころろ	子が親と認識している人の養育態度と自己開示の深さの関連性
宮田 征治	きょうだいによってもたらされる家族仲の影響とその比較 ―家族機能測定尺度を用いて―
矢口 綾乃	ポジティブ・前向き思考に関する文献研究 ―ポジティブ心理学の立場から―

#### 指導教員：後藤 和史

岡田 莉南	時間的存在意識が楽観性・幸福感に及ぼす影響
笹川 明日香	大学生における睡眠特徴が夢と悪夢を見る頻度に与える影響について
庄本 萌恵	「癒し」習慣が主観的幸福感に与える影響 ―主効果モデルと緩衝モデルの観点から―
園木 里奈	逆境的小児期体験がゲーム依存に与える影響
中山 紗良	ゲーム依存と自己意識低減理論および注意狭窄理論の関連性
最上 海翔	糖尿病をもっている人に対するパーソナリティ特性評価に寄与する要因
山形 悠子	推し活がもたらすストレス軽減効果 ―主効果モデルと緩衝モデルの観点から―

#### 指導教員：谿 雄祐

川上 真維	チョコレート菓子のパッケージ色の実際に使用されている色ごとの選ばれやすさの検討 ―白・赤・黄・茶を用いて―
福田 美桜	不確実性選択場面における主観的満足度に変化をもたらす要因の検討
安江 啓史郎	瞬間的な視覚刺激提示下における周辺視野の色彩検出能力と注意の効果

#### 指導教員：仲嶺 実甫子

後川 優志	高校生における他者からの受容的な環境の有無と思いやりへの恐れが本来感に及ぼす影響
遠藤 快聖	大学生の先延ばしによる抑うつに対するマインドフルネスを伴う行動活性化の効果の検討
奥村 玲緒奈	自己受容と自伝的記憶、未来への展望におけるポジティブバイアス、ネガティブバイアスと抑うつ症状との関連の検討
酒井 那摘	傷つけられ回避とソーシャルスキルについて SNS での過度な情報探索との関連の検討
徳沢 賢士郎	両親の養育態度とマインドフルネスが TAF に及ぼす影響について
山田 朋果	他者利益優先的利他行動特性が自尊感情回復のための利他行動および疲労感につながるプロセスの検討

#### 指導教員：西浦 真喜子

坂口 蒼馬	災害時における噂の分類及び情報源との関連 ―令和 6 年能登半島地震の事例―
滝田 真菜	髪色によって接客態度の評価は変わるのか
雲雀 静菜	性格の類似性および望ましが対人魅力に及ぼす影響
増谷 渚	大学生におけるいじめ被害の長期的な影響の検討